

2025年クリスマス メサイア公演

Händel

ヘンデル作曲オラトリオ『メサイア』より抜粋

MESSIAH

2025年12月20日(土)

午後4時開演
(開場 午後3時15分)

北陸学院栄光館 グロリアチャペル
(金沢市飛梅町1-10)

全席自由:3,000円
(高校生以下:1,500円)



朝倉あづさ(ソプラノ) 仲谷響子(アルト)

辻 秀幸(指揮)

近藤洋平(テノール) 安藤常光(バリトン)

◆チケット取扱い場所◆ 石川県立音楽堂チケットボックス

◆お問い合わせ先◆ 090-2129-3196(渋谷)

主催:北陸聖歌合唱団 共催:学校法人北陸学院 特別協力:(公財)石川県音楽文化振興事業団
後援:石川県合唱連盟 テレビ金沢 MRO北陸放送 北國新聞社



*会場には駐車場がございませんので、公共交通機関をご利用いただくか、近隣の本多の森北電ホール前の石引駐車場などをご利用ください
*感染症拡大の状況によってはやむを得ず中止又は出演者の変更などがある場合があります。あらかじめご了承ください



北陸聖歌合唱団公式Webサイト

☆午後3時40分よりパイプオルガンによるウェルカム演奏があります

パイプオルガン:春日朋子

「メサイア(Messiah)」とは、ヘブライ語の「メシア」の英語読みで、旧約聖書の中で降誕が予言されている「神から選ばれた支配者、悩めたるものの解放者」「救世主」即ちイエスキリストのことを意味しています。ヘンデルの代表曲ともいえるこのオラトリオ『メサイア』は第1部『予言・降誕』、第2部『受難・受苦』、第3部『復活・永世』の3部からなり、特にクリスマスの時期には世界中で演奏される機会の多い曲です。オラトリオとは『聖譚曲(せいたんきょく)』とも訳され、宗教的な題材を元にした壮大な叙事的楽曲で、衣装や舞台装置は用いませんが独唱や合唱、管弦楽曲などで演奏され、オペラにも匹敵する物語性を持っています。今回の演奏会では管弦楽の部分をピアノ・オルガン・チェンバロの鍵盤楽器をメインに、楽曲に応じてトランペット、ティンパニを加えた特別編成でお楽しみいただきます。



指揮 辻 秀幸 (つじ ひでゆき)

幼少よりヴァイオリン・ピアノ・フルート・金管楽器・作曲を学び、東京藝術大学声楽科、同大学院独唱科前期修士課程修了。声楽を渡邊高之助、宗教音楽を小林道夫、佐々木正利の各氏に師事。1985年ヨーロッパへ音楽遊学。L.グッアリーニ女史、F.タリアヴィーニ、H.リリングの各氏に師事。1986年イタリアのノバラ市国際声楽コンクール入賞。ハイドルベルク、ウィーン楽友協会大ホール、カイザースラウテルン、パッサウ他でベートーヴェン「第九」のソリストを務め、ヨーロッパ各地でコンサートに出演し好評を博す。その後国内外で伊・独・日本歌曲を中心にユニークなリサイタル活動を展開。オペラではその歌唱と演技で度々新聞各紙で絶賛された。宗教曲演奏のスペシャリストとしてもソリスト、指揮者としてその活動は常に注目を集めている。アマチュア合唱団の育成にも力を注ぎ、現在16団体の指導に関わっている。日本全国で合唱講習会・合唱祭での講師、コンクール審査員を務める。コーラス関係のテレビ、ラジオ番組での出演も多く、身体と共に活動の場は常に広がり続けている。全日本合唱連盟常務理事、東京都合唱連盟理事長、日本合唱指揮者協会会員、東京藝術大学・洗足学園音楽大学 各講師。



ソプラノ・ソロ 朝倉 あづさ (あさくら あづさ)

武蔵野音楽大学声楽科卒業。東京都出身、野々市市在住。これまでに「文教クラシックコンサート」をはじめとする様々なコンサートの出演の他、「第九」やその他多くの宗教曲や合唱曲のソリストを務める。清涼にして明瞭な歌唱は、特にオーケストラ・アンサンブル金沢と共演したヘンデル「メサイア」をはじめとする宗教曲などに於いて指揮者からの信頼も厚く、好評を博す。この他、オペラ「あまんじゃくとうりこひめ」「注文の多い料理店」「ディドとエネアス」に出演するなど、ソリストとして積極的な演奏活動を行う一方で、フォルテ児童合唱団、女声合唱団コーロ・カメリア、野々市市情報文化振興財団理事として、地域文化の発展や後進の育成にも情熱を注いでいる。2004年に野々市町(当時)自治功労賞受賞。



アルト・ソロ 仲谷 響子 (なかたに きょうこ)

輪島市出身。東京芸術大学音楽学部声楽科卒業。2004、2005年kanazawaフレッシュコンサート準グランプリ受賞。第6回北陸新人登竜門にて優秀賞。井上道義指揮OEKと共演。第5回日本音楽コンクール一般Bの部第1位、歌唱賞受賞。「フィガロの結婚」マルチエリナ役。多数の室内楽オペラに出演。宗教曲では「第九」、ヴィヴァルディ「グローリア」アルトソロを務める。石川県立音楽堂主催の公演ではスペシャル・ランチタイムコンサートほか、ガルガンチュア音楽祭などにも多数出演し、マティアス・マイヤー・ホーファー氏との共演を果たすなど、精力的な演奏活動を展開すると共に、指導者としてもOEKエンジェルコーラス、輪島市民合唱団の指揮など、後進の育成や地域の音楽活動のボトムアップに情熱を注ぐ。これまでに高出紘子、有山静枝、高橋啓三、中田留美子の各氏に師事。



テノール・ソロ 近藤 洋平 (こんどう ようへい)

サントリーホールオペラアカデミーにおいてジュゼッペ・サルパティエーニ氏らに師事。オペラ・ミュージカルへの出演に加え、脚本・作曲も手掛ける「テノール・ソングライター」。第三回横浜国際音楽コンクール声楽部門大学の部第1位。第十三回大阪国際音楽コンクール声楽部門Age-U第2位。オペラ「ラ・ボエーム」「魔笛」「ゴジ・ファン・トゥッテ」「ヘンゼルとグレーテル」や、モーツァルト「レクイエム」ヘンデル「メサイア」への出演機会が多い。2019年の朗読歌劇「熱の刻印」、2020年の音楽劇「天使たちの小言」では脚本・作曲・出演を兼任。2022年のTiny Opera「義血侠血」では作曲・出演を兼ねる。「いしかわ金沢風と緑の楽都音楽祭」や「宇奈月モーツァルト音楽祭」では毎年多数の出演がある。YouTubeでは作詞作曲を活かした独創的な動画や、多重コーラス動画を公開。あすなろ小児歯科医院では、歌のリクエストに次々と応える声楽家として駐在。合唱指揮者・指導者。ボイストレーナー。



バリトン・ソロ 安藤 常光 (あんどう じょうこう)

東京芸術大学声楽科卒業。桐朋学園大学研究科修了。二期会オペラスタジオ第39期修了、終了時に優秀賞受賞。文化庁オペラ研修所第11期修了。平成10年度文化庁派遣在外研修員としてドイツに留学。第69回日本音楽コンクール声楽部門第2位。第3回多摩フレッシュ音楽コンクール声楽部門第1位。2002年6月、ドイツの若手オペラ歌手の登竜門であるラインスバルク国際音楽祭に難関のオーディションから選ばれ、唯一の日本人ソリストとして出演。国内では、二期会公演、新国立劇場公演、小澤征爾音楽塾オペラ公演等に出演。宗教曲のソリスト、ドイツリート歌手としても高い評価を得ている。オペラ公演やコンサートの演出、講演、テレビやFM放送の出演など多岐にわたる活動を行うと共に、東響コーラスを始め、数多くのアマチュア合唱団の指揮者・音楽監督を務めている。二期会会員。金沢大学教授。

メサイア・アンサンブル 2025



松浦真沙
ピアノ



大野由加
チェンバロ



春日朋子
オルガン



曾我部清典
トランペット



田嶋 翠
ティンパニ

【合唱練習指導】
犀川裕紀・大野由加

【練習伴奏ピアニスト】
大野由加・加藤純子・
川岸香織・坂口加能子

北陸聖歌合唱団

1949年、学校法人北陸学院が、学院内の音楽会としてメサイアを歌ったのが最初で、翌1950年に北陸聖歌合唱団と名称を決め、同年からは一般公開の催しとして開催される。これまでに主催者の変遷を経ながら、1970年台に一時中断はあったものの、毎年メサイアに魅せられた人たちが集い、金沢で歌い続けている合唱団。発足当時の昼夜2回公演や、大阪、富山、福井等の地方公演を含めると、総公演数は100回を超える。今年の公演も、昨年に引き続き、発足当初の開催場所である北陸学院栄光館 グロリアチャペルでの開催となる。



北陸学院栄光館 グロリアチャペル